

霞ヶ浦流域研究2019

2019年

3/2(土)

10:30～17:00

(受付開始10:00)

レイクエコー 講座室2

(行方市宇崎1389 TEL 0299-73-3877)

参加費無料
申し込み不要

▼ 午前の部

- 10:30 開会 桑原祐史(茨城大水圏センター センター長)
10:35 農業水路における絶滅危惧種キンブナの生活史 石塚隆寛(茨城大)
10:50 北浦の魚類相の長期変遷と流入河川の魚類生息場としての意義 大森健策(茨城大)
11:05 利根川下流域湖沼群の抽水植物帯における魚類群集の空間的差異 内田大貴(茨城大)
11:20 1970～1980年代の霞ヶ浦におけるニホンウナギの定置網CPUEについて 萩原富司(土浦の自然を守る会)
11:35 霞ヶ浦産コイ由来プロバイオティクス乳酸菌を用いた新規養殖技術の開発
丹羽晋太郎(茨城県水産試験場)



休憩 & ポスターセッション 11:50～13:50 (ポスターセッションは12:20～13:40)

1. ヒメスナホリムシはなぜ人の足を噛むのか? (2) 皆藤あい(銚田第二高)
2. 千波湖の魚類調査報告 齋藤大樹(茨城高)
3. 北浦の魚のRH1遺伝子と光環境との関係を探る 小林万莉亜・藤代彩花・鈴木さくら(清真学園高)
4. 越谷北高校周辺の水生生物を探る2018 川上 瞭・小山凌太郎・大隅葉久(越谷北高)
5. 霞ヶ浦産「ごた煮干し」に含まれる魚類・エビ類とその店舗間差異 関野 遼(茨城大)
6. 浪江町溪流における空撮映像を利用した3D溪流地形と藻類付着面積の推定 竹高慎祐(茨城大)
7. 霞ヶ浦の沿岸帯の張網内におけるチャネルキャットフィッシュの捕食実態 古旗峻一(茨城大)
8. 避難支援情報の生成を目的としたDeep Learning応用による河川モニタリングシステムの提案
ー茨城県水戸市沢渡川を対象としてー 塙 翔一郎(茨城大)
9. 水域によるCO2濃度変動効果を考慮した環境評価指標改良への実験的アプローチ
加瀬秀征(茨城大)
10. 利根川水系桜川の水質改善に向けた水環境の現状と課題 熊田千春(自由学園・大正大)
11. 高度化した水循環機構下にある霞ヶ浦流入河川・桜川流域の水環境
ー多地点電気伝導率観測による水質実態の可視化ー 吉川慎平(自由学園・大正大)
12. 茨城県内のホトケドジョウの生息状況ー15年前との比較から 中島政明(茨城県自然博)



▼ 午後の部1

- 13:50 霞ヶ浦における複雑な地形と風応力が形成する混合と傾圧構造に関する研究
浅岡大輝(茨城大)
14:05 霞ヶ浦北浦湖内沿岸部における谷状地形の特徴 中田夏海(茨城大)
14:20 波浪堆積構造における堆積物供給の影響 滝 俊文(茨城大)
14:35 霞ヶ浦流域における農業・畜産由来の大気アンモニアの排出量と濃度の関係 久保田智大(茨城大)
14:50 気候変動による霞ヶ浦水質への影響解析について 小室俊輔(茨城県霞ヶ浦環境科学センター)



▼ 午後の部2

- 15:20 霞ヶ浦におけるユスリカ幼虫密度の長期変化及びそれらに影響を及ぼす要因について PARK SOEUN(茨城大)
15:35 帰宅困難区域の森林河川に生息する溪流魚の¹³⁷Cs濃度の差異に関する研究
ー個体識別放流からの解析ー 樽井美香(茨城大)
15:50 帰宅困難区域の山地溪流における落葉からの放射性セシウム溶脱に関する研究 川上拓磨(茨城大)
16:05 福島県浪江町の陸水環境中における福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウム汚染
の実態 荻部基一(近畿大)
16:20 多層陸面モデルを用いた真菌胞子の森林上空への大気輸送過程の解析 南 光太郎(茨城大)
16:35 閉会 中里亮治(茨城大水圏センター 副センター長)

* プログラムには当日の演者のみ記してあります。

主催: 茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター (<http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/>)
霞ヶ浦流域フィールドコンソーシアム

問い合わせ先: TEL: 0299-66-6886, E-mail: suiken@ml.ibaraki.ac.jp 担当: 碓井・加納

* 当センターは、文部科学省により認定された全国唯一の湖沼の教育関係共同利用拠点です。

